

ISFJ Inter-University Seminar for the Future of Japan

2011年度 中間カンファレンス 活動報告書

ISFJ 日本政策学生会議 東日本支部 事業企画部
東京大学 教養学部文科一類2年 安倍悠輔

【開催日時】

2011年8月21日(日)9:30~16:30

【会場】

代々木オリンピックセンター

【参加者】

26研究会 約170名

【企画概要】

中間カンファレンスでは参加者の皆様が論文執筆の初期段階にあることを念頭に、執筆活動に焦点を当てた企画構成といたしました。参加学生の方々に論文執筆過程全体をイメージしていただくとともに、政策を批判的に検証する視点を獲得していただけるような機会を提供したいと考えました。

【具体的内容】

- ・講演会～政策評価について～
- ・パネルディスカッション～昨年度の論文執筆をふりかえって～
- ・論文執筆進捗状況報告会
- ・グループワーク～政策評価シミュレーション～

【総評】

2011年度中間カンファレンスでは多数の優秀な学生の皆様にご参加いただくことができました。

午前の部前半では昨年の政策フォーラム参加者の方々をパネラーにお招きし、政策論文の執筆についてのパネルディスカッションを行いました。パネラーの皆様から貴重な経験談をお話いただき、今年度参加学生の方々に詳細かつ具体的なイメージを持っていただくことができたことと確信しております。

午前の部後半では、明治大学商学部教授の千田亮吉先生をお招きし、政策評価についてご講演いただきました。政策評価を行う際にどのような観点から評価していくのか、どういった点を重視するのかについて、参加学生の皆様に理解を深めていただくことができました。

各分科会に分かれた午後からは論文執筆の進捗状況報告、また午前の部後半の内容を踏まえた上で政策評価をテーマとするグループワークを行いました。政策フォーラムで各研究会が提言する政策をよりよいものとするために必要な一つの視点を理解していただけたのではないかと考えております。

一方で政策評価のシミュレーション等の初めての試みがあったということもあり行き届かない点が多く、各方面から多くの貴重なご意見をいただきました。真摯に受け止め今後の活動に生かしていきたいと考えております。